

**公立大学法人名桜大学とイオン琉球株式会社
～次世代とともに豊かな地域の発展を目指して～
産学連携に関する包括協定を締結**

公立大学法人名桜大学（名護市字為又1220-1、学長：砂川昌範）とイオン琉球株式会社（南風原町字兼城514-1、代表取締役社長：鯉淵豊太郎）は、双方の有する人的・物的資源を有効に活用して、豊かな地域社会の形成・発展に寄与することを目的に産学連携包括協定を締結します。

これまでイオン琉球は、名桜大学生のインターンシップ受け入れや、地域のボランティア活動の協働参加など店舗を通じた連携を図ってまいりました。

名桜大学は“地域に開かれ・地域と共に成長する”大学を目指して、地元やんばるに根ざした研究を地元へ還元する講座、健康やスポーツに関する講座や体験学習型の講座を開催し、地域とつながる連携活動を推進しています。

協定に基づく取り組みの一例として、県内北部の地域産品を使った商品開発や、SDGs環境啓蒙活動・ワークショップ、インターンシップ、キャリア教育など、双方の資源を有効に活用した計4項目において新たな連携を図ってまいります。

今後も名桜大学とイオン琉球は連携して、次世代の豊かな人材育成とさらなる地域活性化に向けて共に取り組んでまいります。

・ **【 連携事項 】**

- (1) 相互の資源を活用して地域社会の持続可能な発展に関する事
- (2) 社会課題の解決に資する研究および新技術の創出に関する事
- (3) 教育・人材育成の相互支援および推進に関する事
- (4) その他、本協定の趣旨・目的達成のために必要と認める事項

・ **【 想定する実施内容例 】**

- (1) 共同研究・事業・調査などの企画立案・実施
- (2) 共同研究・事業・調査などの成果を地域社会へ還元
- (3) 名桜大学の学生のインターンシップ受け入れ・キャリア教育
- (4) イオンからの外部講師の派遣、名桜大学におけるリカレント教育の実施
- (5) SDGsに関連する各種イベントへの相互参画
- (6) ボランティア活動への人員の相互派遣

【名桜大学 イオン琉球 産学連携包括協定 締結式について】

日時：2022年8月5日（金）11：00～11：30

場所：名桜大学本部棟4階第1会議室

登壇者：【名桜大学】

学長

砂川 昌範

副学長

林 優子

【イオン琉球株】

代表取締役社長

鯉淵 豊太郎

【名桜大学・イオン琉球 産学連携包括協定に基づく取り組みの一例】

◆ **共同事業を推進（項目1、2に該当）**

名桜大学の特徴のひとつである“健康スポーツ分野”で活動されている沖縄県の健康長寿復活に関連して、イオン琉球のノウハウや購買データを参考にした、学生との「健康長寿弁当」の開発や、地元や北部やんばるの特産品を使った商品の開発を推進します。

また、高齢者だけでなくあらゆる世代の健康促進として、適度な運動を取り入れた講習会などを、様々な世代が集まるショッピングセンターを活用してイベントを開催していきます。



イメージ：我那覇畜産の豚肉を使った琉球応援弁当



店内ウォーキングイベント

◆ **名桜大学の学生のインターンシップ受け入れ・キャリア育成教育（項目3、4に該当）**

継続的なインターンシップの受け入れや、環境・社会貢献活動について公益財団法人“イオン環境財団”より寄付講座を行い豊かな沖縄の自然を次世代に残すための生きた学びの提供も行っています。また、名桜大学の中期的な計画の1つである地方創生に関連した学生による地域をフィールドとした各種活動について、さまざまなアイデアを具現化していけるような取り組みを学生とともに推進していきます。

◆ **SDGsに関連する各種イベントへの相互参画（項目5、6に該当）**

身近な環境・社会貢献活動に相互参画しながら、次世代へ残す豊かな沖縄について考えていく機会を創出します。地域の清掃活動やプラスチック削減への取り組み、フードロス削減など地域や店舗を拠点とした活動とともに取り組んでいきます。



大宜味村でのビーチクリーン活動